

2016年9月5日

さらに進化を遂げた 2スピンドル2タレットで2台分の加工能力を持つCNC旋盤 “MULTIPLEX W-200シリーズ”

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、2スピンドル2タレット(刃物台)のCNC旋盤“MULTIPLEX W-200シリーズ”を発表します。

来る9月12日から米国シカゴで開催のIMTS2016及び11月17日から東京ビッグサイトで開催のJIMTOF2016に出展します。

MULTIPLEXシリーズは、同一能力のスピンドルとタレットを左右対称に配置した主軸移動型2スピンドル2タレット構造により、1台で通常のCNC旋盤2台分の加工能力を持ちます。

たとえば、左右の主軸でのワーク自動受渡しによる連続加工、左右独立して異なる加工物の同時加工、さらには、左右の主軸とZ軸の同期によるロングシャフト加工など様々な加工が可能です。

初代MULTIPLEX発表から約30年、今回MULTIPLEX W-200シリーズとして多くの進化を果たし生まれ変わりました。最新シリーズでは、タレット構造の変更によるチップ・ツー・チップ時間の短縮、スラントベッド構造採用による切粉排出性の向上、油圧・エア・潤滑機器を集中配置による保守性の向上を実現しました。さらに最新CNC装置MAZATROL SmoothGを搭載し、操作性及び生産性を向上させました。

Y軸付きMULTIPLEX W-200Y、高性能ガントリーロボットによる自動化対応など、お客様の加工ニーズに合わせた仕様をご用意しています。



CNC 旋盤 MULTIPLEX W-200Y (オプションのガントリーローダ付き)

お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報
TEL:0587-95-6849 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。
ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください